

園の輪

そののわ No.185

学校法人 甲子園学院



「ポンポンをもってダンスをしたよ」竹本結香(甲子園学院幼稚園年少組)

CONTENTS

〈ESSAY 2023〉…………… 2	〈学校園だより〉…………… 4~9
「未来に向かって『想像』」 塚本 康子	幼稚園 小学校 中・高校 短大 大学
〈学院トピックス〉…………… 3	学院生の活躍…………… 10
幼小合同運動会 中学校バレーボール部2年連続全国中学校体育大会出場	

未来に向かって「想像」

塚本 康子



現行の幼稚園教育要領には、幼稚園教育における育みたい資質や能力が明確化されました。「環境を通して行う教育」を基盤に遊びや生活を通して総合的な指導をすることが、幼稚園教諭に求められています。子どもと向き合い成長を促すための環境づくりや関わりが重要な役割です。環境づくりとは「人」「もの」「こと」に子ども自身が興味をもって、面白がって試行錯誤しながら関わりができる物的な準備であると考えます。子どもとの関わりについて考えると、認める、褒める、共感する、考えられるように導く、気付きを促す、コツを知らせるなどの言葉かけが挙げられます。また、教諭が発する言葉で、子どもたちが何となく味わっている状況や心情等をはっきり認識できるようにしていきます。「こんな経験をしているよ」とか、今、味わっているのは「こんな気持ちだよ」とタイミングよく言葉にして伝え、明確にしていくことです。

私は職員室で、困りごとや怪我やどこかが痛いなどでやってくる園児と向き合うことが多くあります。その時に友だちに付き添われて来た子どもには「心配して一緒にいてきてくれる優しい友だちがいてくれていいね」付き添って来た子どもには「友だちのことを心配する優しい気持ちをもっている素敵だね」と声をかけます。笑顔で微笑み合っている姿からお互いの存在を温かい思いをもって認識していると理解できます。何となくわかっていることをしっかり「それは、こういうことだよ」と気付いてもらえるように言葉で知らせています。

本園では一日一冊、必ず絵本やお話に触れる時間を大切にしています。子どもたちはその時間が大好きです。若い頃、幼児に絵本やお話を毎日読み聞かせる重要性を理解しました。その良い点は、たくさんあります。その一つは「想像力が豊かになる」ということに着目しました。それは登場人物の気持ちを感じたり、推測したり、寄り添ったり、その後どうなっていくのか状況を推察する、また、その中で夢を広げるなどに発展していきます。それらのことは、傍にいる人の心の中を感じ取り、また、自分に対して周りの人がどんな気持ちで接してくれているのか優しさを感じ、感謝する気持ちをもつことにも繋がっていくのではないのでしょうか。

幼稚園の現場では、保護者の方より先に子どもたちの「できた!」「やったー!」の笑顔を見るのが少なからずあります。子どもたちは、遊びと生活の中からいろいろなことを学びます。そして、そんな生活の中で何か一つできるようになった子どもは、確実に自信をつけ次のステップへ進んでいきます。「想像する」ことを大切に、楽しみながら周りの人に支えられ、自分も支えになって未来に向かって共に羽ばたいて欲しいです。

つかもと やすこ ●甲子園学院幼稚園長

尼崎市で生まれ育ち、西宮市で学生生活を終え、同年昭和49年4月から尼崎市立幼稚園教諭。園務主任、教頭を経て園長。平成26年3月尼崎市立幼稚園長を退職。平成26年4月から現職。

幼小合同運動会 10月8日(日)

朝は曇り空で少し肌寒く感じましたが、今年度から満三歳児クラスのことり組の可愛い仲間も増え、十年年の初めての運動会となりました。また、観覧人数の制限を設けなかったため、多くの保護者の方にお越しいただきました。園児・児童たちは、練習の成果を發揮しようと奮闘しました。

技「大玉送り」からスタートしました。ことり組からスタートした大玉は、幼稚園児から小学生へ。



幼稚園

互いに「頑張れ」と声援を送り白熱した戦いが繰り広げられました。最初の競技は年少児のかけっこでした。ゴールテープを目指して一生懸命走ることができました。年中児の折り返しリレーは、次の友だちへと、懸命にバトンをつなぎました。年長児の「台風の目」は、二人一組で力を合わせ、息の合った走りを見せてくれました。

年少・年中・年長児による「キラキラ輝け☆甲子園KIDS」では、甲子園学院の伝統競

は、年少児はクラスカラーのポンポンを持ち、保護者の方と一緒に作った素敵な「かわいくてごめん」の曲でリボンのベストを着て、ダンスをしました。年中児はキラキラ輝く「スパースター」になっ



て、ダンスを披露しました。年長児のパラバルーンは、みんなの気持ち一つになって、大きく膨らみました。「リビング・イン・カラー」の曲と相まって、さすが年長児と感ぜさせる演技でした。

満三歳児 初めての運動会

満三歳児クラスのダンスは、腕に動物の顔のアームと腰みのを付けた子どもたちが、保護者の方と一緒に、「ジャンゲル ぐるぐる」の歌に合わせて、可愛いダンスを披露しました。競技では、乗り物に乗ってお家の方と出発し次の友だちにリレーをしました。救急車パトカー、消防車と大好きな乗り物で楽しそうでした。

小学校

低学年はリズム演技で、テレビアニメ「推しの子」の主題歌「アイドル」に合わせてかわいく、かつこよくダンスを踊りました。歌

を口ずさみながら楽しんで観ていた園児たちもいました。「ころがせ地球」では三人一組となって走りながら大玉をころがしました。声をかけあい、力を合わせてゴールに向かう姿は、大きな拍手につつまれました。

高学年のリズム演技は、沖縄の伝統的な歌舞劇をベースに現代版舞踊楽曲として作成された「ダイナミック琉球」をアレンジして踊りました。力強い動きと迫力ある掛け声に、演技終了後、会場では感動の拍手がわきました。

リレー種目では、低学年高学年ともに、手に汗握る勝負となりました。各競技で、最後まで諦めずに頑張る姿に自然と応援に熱が入り、観る人たちの目を惹きつけました。また、今年度は保護者競技も復活し盛り上がりを見せました。



感謝

合同運動会の準備だけでなく後片付けには、中高の先生方に加え、中高バレー部の生徒にも手伝っていただきました。また、終了後の撤収作業では保護者の方々に積極的に応援していただき、スムーズに片付けることができました。

久米多香子先生
祝 百寿おめでとうございます。

学院特別顧問の久米多香子先生が九月六日、百寿を迎えられ、学院教職員はじめ多くの人からお祝いの花束が贈られました。心からお祝い申し上げます。

昭和二十五年、久米利男学院長と結婚して横浜から西宮に来られ、同二十九年に学院長秘書に就任。爾来平成二十年三月末に法人事務局長を退任されるまで五十四年の長期にわたり学院の発展に貢献されました。その後も特別顧問として在職されています。

福井昇前事務局長からは「百寿

おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。



の大会で三年生の先輩たちと一緒にプレイし、一勝できたのはとても嬉しかったです。新チームでは、三年連続全出場という目標を達成できるように全員バレーで頑張ります。」と話し、決意を新たにしています。

中学バレーボール部

全国中学校体育大会二年連続出場

八月二十一日から愛媛県総合運動公園体育館で、全国中学校体育大会（全日本中学校バレーボール選手権大会）が行われました。

中学校バレーボール部は、昨年引き続き、二年連続の出場となりました。予選グループを勝ち抜き、昨年出場できなかった決勝トーナメントに臨みました。残念ながら一回戦で敗退しましたが、成長したチーム力を全国大会で発揮することができました。

新主将の松井優さんは「バレーボール部に入部した時の目標が全国中学校大会出場だったので、夢

の大舞台で三年生の先輩たちと一緒にプレイし、一勝できたのはとても嬉しかったです。新チームでは、三年連続全出場という目標を達成できるように全員バレーで頑張ります。」と話し、決意を新たにしています。



お泊り保育

年長組

七月二十日から二十一日にかけて、年長児が四年ぶりにお泊まり保育を行いました。はじまりの集いで「明日の朝まで思い切り楽しもう」と気持ちを盛り上げ、スタートしました。

カレーづくりをしたり、園庭でネイチャーゲームをしたり次々と楽しいことがありました。夏まつりでは、ボランティアのお父さん方が活躍してくださり、たくさんゲームコーナーで汗びっしょり、



だっただ子どもたちも、帰る頃には「楽しすぎて時間が足りなかった」「もう一度お泊まり保育したい」と笑顔で話し、楽しい思い出になったようでした。お泊まり保育を通して、友達との絆が深まったり、自立の気持ちが高まりました。

満三歳児保育スタート

今年度の九月、新たに満三歳児クラスを開設しました。三歳の誕生日を迎えた翌月から入園できます。週五日お家の方と離れて、幼稚園で過ごし年少組と異なるカリキュラムで保育を進めます。登園時はお家の方と離れる時に大泣き、恥ずかしそう



に戸惑う、ニコニコ笑顔で登園するなどの姿が見られます。日によってそのメンバーが入れ替わることもありますが、降園時は笑顔がいっぱい！みんなが集まり「ことり組」で好きな遊びをしたり、先生の話聞いていたりしている時は笑顔や真剣な眼差しがあり楽しそうです。ご近所の同年齢の子どもたちやお兄さんお姉さんと触れ合っ遊ぶ経験ができていく時代です。開設から少ししか日は経っていませんが、子どもたち同士で刺激を受け合い、幼稚園での遊びや生活の中で、確かな成長を感じられます。すくすく大きくなあれ！

祖父母参観

九月二十八日

コロナ禍では祖父母参観の代わりに子どもたちの写真や作品、メッセージを付けたカードを写真立てに入れてプレゼントしていました。今年は今年度は数年前に祖父母の方々に園にお招きし、直接触れ合っ楽しい交流の時間を過ごすことができました。



おじい様・おばあ様に自己紹介をしていただいた後、ことり組は電車ごっこ、年少組はダンス、年中組はじゃんけん列車などのゲーム、年長組は昔遊びを一緒に楽しむ、みんなの笑顔が輝くひと時になりました。



温かい笑顔に包まれた参観後、「おじいちゃん、おばあちゃんと遊べて楽しかった」「次はいつ参観あるの？」と子どもたちから嬉しい感想を聞くことができました。

初めての遠足

年少児

十月十九日

年少組の初めての遠足は宝塚市の末広中央公園に行きました。この公園は、災害時に利用できる貯水槽が公園の下に完備され、滑り台やトンネルなどがついた大型遊具があります。

年少組にとっては、初めての園外保育なので、日が近づくにつれて「遠足楽しみ！」と子どもたちはワクワクしていました。幼稚園バスにみんなも乗ることも嬉しかったようです。お天気にも恵まれ、公園に到着すると大きな遊具に子どもたちも大興奮で「早く遊びたい！」と遊ぶのを待ちきれな

動物村

十月二十四日

幼稚園の園庭が動物園に大変身！朝から子どもたちは、たくさん野菜やパンを動物にあげるために持ってきました。

慣れた様子で最初から積極的に関わるともいければ、恐る恐るひよこを手に乗せ、上手にできると硬い表情も少しづつ笑顔に変わり、「可愛い



い様子でした。遊具で遊んでいるよという合図の後であつという間に大型遊具の三階まで登りました。子どもたちは一番高い所から「おーい先生」と元気いっぱい笑顔で手を振ってくれました。いっばい遊んだ後はお待ちかねのおかあさんの愛情たっぷりのおにぎりを食べました。いつもと違う場所でお友達と一緒に食べるおにぎりは、特別美味しかったようです。



ね！」と言いながら、何度も繰り返す子どももいました。大人気のポニーの名前は「チャーリー」。みんなで交代に乗って、写真を撮りました。蛇も順番に首に巻いてもらい、その瞬間、みんな勇者になりました。

「動物村、楽しかったよ！」「一番可愛かったのはモルモットで、いっばいご飯をあげた」「ヤギの角は固かった」「羊の毛はふかふかで、気持ち良かった」「にわとりを頭にさせた」降園時に子どもたちが、思い思いに話してくれました。様々な動物と触れ合うことで、生き物への思いやりや命の大切さを感じることができました。

学習発表会I (舞台発表の部) 十一月十二日

一年生は、ゲームの中の世界をテーマにした劇を元氣いっぱい発表しました。二年生の音楽劇は迷子の動物たちのお話でした。上達させてきた器楽演奏の技術を存分に発揮することができました。三年生の国語劇は、忍者たちが幻の寶石を求め奮闘する話です。最後は心温まる展開となりました。



四年生の英語劇は「大きなかぶ」を演じ、英語学習の成果を発揮しました。五、六年生の音楽は、響き合う歌声、息の合った演奏で聴く人を魅了しました。



遠足

十月二十七日

全校児童で京都市にある「東映太秦映画村」に行きました。午前中は、「からくり忍者屋敷」



五、六年生の国語劇では、タイムマシンを使って歴史を変え政府をおどす盗賊団と、探偵たちの戦いを描きました。練習で磨いた演技力は高学年らしい素晴らしい発表をみせてくれました。最後は四



「立体迷路忍者の砦」「レーザーミッション脱出の城」「手裏剣道場」などの様々なアトラクションから、グループごとに二つを選んで体験しました。アトラク



ク終えたグループは、芝居小屋で上演された忍者のショーも鑑賞することができ、大変盛り上がりま

アフタースクール

今年度のアフタースクールは、「算数パズル」「ロボットプログラミング」「体操教室」の3つの講座を開講しています。「算数パズル」はパズルやゲームを通して数学的思考力を培っています。また、「体操教室」ではマット



やとび箱などで体幹や柔軟性を鍛えています。「ロボットプログラミング」では一年生から難しいプログラムを使用

夏休み作品展

夏休みに制作した作品や、調べ学習をまとめたものを展示発表しました。どの作品にも一人一人の思いや考え、願いが込められていま



が寄せられました。保護者の方からも感心の声



植村 一晴 第四十四期生 慶應義塾大学経済学部卒

私は、幼稚園、小学校の九年間を甲子園学院でお世話になりました。小学校時代毎日のように、休憩時間や放課後、友だちと手打ち野球をしていたのが懐かしいです。また、習熟度別のクラスで、中道先生(現校長先生)の出された(愛情溢れる)とても難しい問題を皆で競って解いていたのも良い思い出です。

卒業後は、洛南高等学校附属中・洛南高校から、慶應義塾大学経済学部へと進学し、大学四年時

すばらしい先輩たち



植村 友貴 第四十六期生 京都大学法学部卒 三宅法律事務所勤務 (出向中)

兄と同様、九年間甲子園学院でお世話になりました。社会人になってからは、主に企業法務を取り扱う法律事務所就職し、現在は、東京の丸の内にある銀行の法務部に出向しています。

小学校のときは習字クラブと将棋クラブに所属していたのですが、現理事長の久米翠娥先生から習字を教わりました。将棋部の

に始めた法律の勉強が面白かったことがきっかけで法曹を目指すようになりました。その後、千葉大学のロースクールを経て、現在は、大阪の法律事務所で弁護士として働いています。

今後皆さんは、色々なことに興味を持ち、チャレンジもされるでしょうが、一度始めたことは、しんどくても少し我慢して続けるのが大事だと思います。地道な努力がないとその分野への理解が深まらず、本当の面白さも見えてこないと思うからです。皆さんが、自分のやりたいことを見つけ、自分を信じて最後まで頑張り、それぞれの道で羽ばたかれるのを心より願っています。

兄弟そろって弁護士

リーグ戦で優勝するために部員同士で切磋琢磨し、充実した学校生活を送ることができました。小学校の同級生とは今も付き合いがあり、かけがえない親友になっています。学業についても、算数の習熟度別など児童一人ひとりに目の行き届いたご指導をいただき、お陰様で、勉強が得意でない私も何とか希望の進路に進むことができました、今では自分のやりたかった仕事ができています。

甲子園学院では何物にも代えがたい貴重な経験をさせていただき、本当に感謝しています。

コーラスコンクール

七月十四日

一学期最後の大きな行事である「令和五年度コーラスコンクール」を三年ぶりに西宮市民会館「アミテイ・ベイコムホール」で開催しました。

新型コロナウイルスの影響により音楽の授業では、歌唱や合唱の取り組みを控えていた期間をようやく乗り越え、今年度より通常通りクラスで金賞を目指して一致団結し練習に励みました。コーラスコンクールの本番一週間前より、全クラスに電子ピアノを貸出した、音楽室や講堂、体育館を使用したりして、十分に練習に取り組みることができました。また中学生は、主に学年ごとに音楽の授業内で練習を進めていき、高校生は芸術の科目で音楽を選択している生徒が中心となり、授業内で練習したものをクラスメイトに伝えていく方法をとって本番に臨みました。短い練習期間のなかで、歌詞を覚えて、メロディーを少しずつ掴み、ときに意見をぶつけ合いながらも、合唱を通じてクラスの絆をより深めることができました。



生徒会による司会でステージが進行され、審査員には理事長先生をはじめ吉田顧問をお迎えし、厳正な審査が行われました。生徒たちはスポットライトに照らされていくステージ上からの景色や、これまで練習していた教室の響きとは違う、慣れないホールに緊張しつつも、練習の成果を最大限に発揮することができました。また他クラスの合唱発表に一喜一憂しながらもコンクールを楽しんでいる生徒の姿が多くありました。



全クラス終了後の投票には生徒たちも参加し、一番良かったクラスにそれぞれ投票をしました。投票の集計中には、本校吹奏楽部による演奏が行われ、今年度の吹奏楽コンクールに向けて練習を重ねていた課題曲や自由曲などを披露し、会場は大変盛り上がりしました。審査の結果は次の通りです。

- ☆金賞 高校二年二組 『時の旅人』
- ☆銀賞 高校二年一組 『あすという日が』
- ☆銅賞 高校三年一組 『COSMOS』
- ☆最優秀指揮者賞 高校二年一組 田中 莉夢
- ☆最優秀伴奏者賞 高校二年二組 陶久 菜花

文化祭

九月十六日、中学校・高等学校文化祭を開催いたしました。今年度は、生徒たちが来校者に楽しんでもらえるようにおもてなしをすることをテーマに行いました。

生徒たちは文化祭に向けて、動画・アトラクション・仮装・クッキーアートなどのチームに分かれて、準備を進めました。当日は、家族や友人、外部の方など多くの方にご参加いただき、とても賑やかな文化祭になりました。

吹奏楽部のウエルカムコンサートに始まり、講堂ではダンス部が発表し、エンタランスでは有志による歌やダンス・手品などのパフォーマンスを披露しました。今年、初めて試みたキッチンカーはとても人気で大行列になりました。



◇アトラクション

限られた時間の中での準備でしたが、生徒たちはどうすれば来てくださった方が楽しく過ごせるか、また自分たちも楽しめるかを考えて出したものを作りました。今回はクラスではなく各学年単位でまとめ、さらにはアトラクションと

いうチームで中学校から高校まで一丸となつて、体育館をアトラクションスペースとして作り上げました。

中学校「ジャングルカーニバル」
高校一年「もぐらたたき」「スロウイングスナイパー」
高校二年「射的」「おみくじ」「わなげ」
高校三年「千本引き」「フォトスボット」「ミリオンスプーン」
「?ボックス」

当日は小さい子どもたちも多く、笑顔あふれる場となり、大盛況でした。担当した生徒たちの表情からも達成感を感じることができました。

◇仮装

各クラスで決めたテーマに沿って仮装の衣装や小物づくりに取り組みました。当日は衣装を生徒たち自らが身に付けて仮装し、エンタランスのステージで発表しました。クラスの代表者が、アピールポイントや頑張って取り組んだところなどを熱く語り、どのクラスも手で込んだ作品が多く、力作ぞろい、客席からも歓声が上がっていました。優勝は高校三年二組の「ピクミン」で、最高学年にふさわしいクオリティの高い作品に仕上がりました。



◇クッキーアート

担当の生徒と赤、青、黄、黒、五色のクッキー生地を用意し、参加者に配布しました。参加者は色を混ぜたりしながら、オリジナルのクッキーを作りました。幼稚園児や児童、保護者の方も楽しんでいました。生徒たちは作り方の補助や焼き作業、包装などに従事し、それぞれが臨機応変に動くことができ、スムーズな運営ができました。終始、和やかな雰囲気会場にはあり、完成品を見た参加者の満足そうな笑顔がとても印象に残りました。



文化祭の盛り上げを締めくくる閉会式では、皆が楽しみにしていたビンゴ大会が行われました。豪華な景品に、生徒たちはワクワク、ハラハラしながら、数字の発表に耳を傾けました。興奮と期待感が膨らみ、クラスメイトや他学年と競り合いながら楽しむ姿が会場中に広がりました。閉会式の最後には、教職員による歌のパフォーマンスが披露され、みんなが大いに盛り上がりました。全校生徒が集まり、楽しい瞬間を共有することができ、学校生活の思い出の一ページとなりました。

芸術鑑賞

十月二十七日、高等学校一年生から三年生は梅田芸術劇場メインホールでミュージカル「アナスタシア」を鑑賞しました。この作品は、第七十回アカデミー賞において、歌曲賞や音楽賞にノミネートされたアニメ映画「アナスタシア」に着想を得て制作されたミュージカルです。ブロードウェイ公演は、二〇一七年三月にプレビュー公演を経て、四月に開幕後、二〇一九年三月まで二年間にも及びロングラン上演されました。

物語の舞台は、二十世紀初頭、帝政ロシア時代の最後の皇帝ニコライ二世をはじめ一族が殺害されたというニュースがあふれる中、皇女アナスタシアだけは難を逃れ

生き続けているという歴史上の謎「アナスタシア伝説」にもとづいた物語です。記憶を無くした主人公アーニヤが、自分の過去を取り戻し、愛する家族と自分の心の帰る場所を見つける旅路を描いた大人から子供まで楽しめる愛と冒険に満ちた作品です。

ミュージカルを観た経験がほとんどない生徒たちは、観客を惹きつける圧倒的な歌唱力、一瞬にして違う場面へとセットが転換する舞台装置、場面やセリフにぴったりと合わせて演出される音響や照明、そしてキラキラと輝く華やかなドレス衣装などに、目を奪われました。また今回の座席は、一階席の中央付近で観劇できたので、独特な緊張感を味わいながら、役者との距離も近くより一層ライブ感を感じることができました。

わくわくオーケストラ



十月四日、今年度も兵庫県立芸術文化センターで行われる、青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」に参加しました。兵庫県下の多くの学校がこのすばらしい劇場に集結し、すばらしい音楽にふれることができるという、貴重な体験活動の一つとなっています。弦楽器や木管楽器など、演奏に使われているすべての楽器の紹介を通して、生徒たちはオーケ

ストラの心に響く演奏に引き込まれていました。最後は、指揮者に合わせて参加者全員が手拍子をするというパフォーマンスに、会場が一体になる体験もさせていただきました。この体験は生徒たちの心に大切な記憶として残っていくことでしょう。



秋季校外学習

十二月二十四日

中学生

高野山にある「甲子園学院物語者慰霊塔」を参拝しました。

神聖な空気を感ぜながらの参拝に、生徒たちは甲子園学院の歴史の重みを感じ、今後の学校生活への思いを新たにすることができました。その後、金剛三昧院で初めて精進料理をいただきました。「予想していたより美味しかった。」という声が多く、完食した生徒がほとんどでした。



高校一年生

神戸・三宮周辺で校外学習を行いました。今回の校外学習は、修学旅行でおこなう班別自主研修の練習と位置づけ、「神戸街めぐり1dayクーポン」を使用し、クーポンが利用できる施設に入場するという条件のもとで、班ごとに計画を立てて行動しました。

当日は少し風が強かったですが天候に恵まれ、班ごとに施設めぐりをしました。モザイク大観覧車やフェリスモチョコレートミュージアムが人気で、多くの生徒が訪れていました。昼食は南京町で食

べた班が多かったです。生徒から

「初めて一緒に行動するメンバーがいたので、仲が深まった」、「普段は行かないところに行くことができたので新鮮だった」などの感想が聞かれました。集合時間を守る行動ができたことで、修学旅行に向けての成果がありました。



高校二年生

イチョウが鮮やかな黄色に色づく秋晴れの中、姫路セントラルパークへ行きました。到着早々、ドライブスルーサファリから行程をスタートしました。猛獣ゾーンはチーター、トラやライオンを、

草食ゾーンではキリン、シマウマ、バイソンなどを観光バスの車窓から間近に観察することができ、生徒たちは写真を撮るなど、興味津津な様子でした。その後、ウォーキングサファリへ移動し、コース内を歩いて動物たちとふれあったり、お土産を購入したり、思い思いの時を過ごしました。お昼からは遊園地で、アトラクションに乗って絶叫するなど思いっきり楽しみました。また、級友とおしゃべりをしながらのんびりと過ごすなど、限られた時間の中で計画的に活動することができました。



オープンスクール

八月から十一月にかけて、中学校・高等学校のオープンスクールを四回実施しました。

講堂で、生徒たちが文化祭で作成した動画などを見ていただいた後、生徒たちによる校舎案内を行いました。コロナ禍の間は中止していた制服の試着も再開し、以前と同じ内容でオープンスクールを行うことができました。同時に、吹奏楽部やバレーボール部、剣道部をはじめとした部活動体験や、

中学校入試の対策講座を開催した日程もあり、こちらも好評でした。また食堂でオープンスクールのために特別メニューを準備し、参加者には一品無料で提供しました。食事をしながら親子で進路について語らう姿が見られるなど、今後につながる行事となりました。



数理・データサイエンス・AI教育プログラムに認定

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」とは、学生の数理・データサイエンス・



AIへの関心を高め、適切に理解し活用する基礎的な能力や課題を解決する実践的な能力を育成するために体系的な教育を行う大学等の正規の課程を文部科学大臣が認定、選定して奨励する制度です。

内閣府は「AI戦略2019」の中で、今後のデジタル社会ではデータとデジタル技術を活用したビジネスモデルの拡大変革が重要

令和五年度 大学祭

十月二十八日、四年ぶりに一般公開となる大学祭を実施しました。会場のイネーブルガーデンには、開場前から近隣のお客様が並ばれ、学生たちは少し緊張した面持ちで迎えました。が、「学生さんのお迎えが嬉しかった」との言葉を頂きました。ボール入れや絵本



としており、持続可能な社会の創り手として必要な基礎力を全ての国民が育み、社会のあらゆる分野で人材が活躍することを目指しています。その人材育成教育の仕組みとして創設されたのが本制度です。短大の令和四年度のカリキュラムと教育活動（「IT技術II」等）が、令和五年八月二十五日に文部科学大臣から数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）として認定されました。全国の短大で、これまでに認定されているのは本学を含めて三十校であり、さらに上の認定教育プログラム（リテラシーレベルプラス）を目指し、引き続き取り組みを進めて参ります。

二回生 フィールドワーク研修 十一月十七日、二回生がフィールドワーク研修を行いました。始めにホテルグランヴィア大阪でコース料理をいただきながらテーブルマナーを学び、大人としての嗜みをわきまえることに一歩近づきました。その後、生活環境学科は日本初の住まいをテーマにした専門博物館「大阪くらしの今昔館」へ、幼児教育保育学科は遊んで学べる子どものための博物館「キッズプラザ大阪」に行きました。両博物館では、それぞれが卒業後の職場を想定した有意義な研修となりました。生活環境学科は時代に沿った住まいの移り変わりを体験し、幼児教育保育学科は子どもの安全に配慮した展示や設備を見学することができました。



短大主催 コンクール審査結果発表 今年度で九回目を迎えた高校生エッセーコンクールは、「AI化社会における生き甲斐と絆づくり」をテーマに募集しました。現代の大きな課題をテーマに取り上げましたが、応募作品が多数寄せられました。また、四回目となる絵本コンクールには、仕掛け絵本や布の絵本など力作が集まりました。なお、入賞者は短大ホームページにて発表しました。ご応募いただきました高校生皆さん、ならびにご指導いただきました先生方に厚くお礼を申し上げます。

グローバルスタディ スタディ・スキルズ 本格始動

学生が、現代社会にふさわしい豊かな教養を身につけ、広い視野に立つて考えられることを目的に令和四年度から開講されたグローバルスタディも、二年目となり本格的に始動しています。「グローバルスタディⅢ」では指導教員のもと、二回生が自主的に追求課題に取り組み、成果報告を行いました。引き続き卒業研究に取り組みことを期待しています。 また、I回生前期に行われるスタディ・スキルズ（旧基礎演習）は、学習意欲を高めるための基礎的能力と、大学生として必要な資

第二十二回 キャリアアップ研修

十月二十一日に「自然の法則を活かした介護テクニク 少林寺拳法で介護ができる」と題して、少林寺拳法、尼崎潮江道院長・正範士七段・大導師の三角進弥氏による講義と実技を伴うキャリアアップ研修を行いました。 少林寺拳法の「人を倒すことができれば起こすこともできる」という発想から、少林寺拳法の技法を応用した実技を交えて、効率的な身体操作等が介護技術にも活用できることを教えていただきました。今回の講座は、日本の少林寺拳法の道院では初めての試みだそうです。



紅葉祭

「一期一会」

秋晴れの下、十一月三日(日)に第五十五回紅葉祭が行われました。今年のテーマは「一期一会」コロナ禍を経て、たくさんの人に出会えた奇跡」でした。このテーマには、一度限りの出会いやこの瞬間を大切に、これまで出会った人々すべてに感謝したいという思いが表現されています。



メインス
テージでは、お笑いライブや着ぐるみダンスステージ、ビッグ大会や軽音ライブが行われ、ビンゴ大会は今年初めて開催され、子どもからお年寄りまで参加者全員がビッグを楽しむ姿が印象的でした。また、今年は学生の模擬店に加え、キッチンカー五台が来学し、魅力的なメニューが提供されました。音響のアクシデントも乗り越え、最後まで無事開催できました。

サイコカップ開催

十月十二日、サイコカップを開催しました。サイコカップとは心理学部の運動会です。一〜三回生

ドキドキするアニメをつくらう!

心理学部@オープンキャンパス

八月十一日に、心理学部で来年度スタートする新カリキュラム「現代メディア心理学領域」に関連し、講演会を行いました。講師としてアニメ制作会社「アニメプレックス」の執行役員専務でアニメプロデューサーの落越友則氏を迎え、「ドキドキするアニメをつくらう〜アニメ・プロデューサーの舞台裏〜」と題してご講演をいただきました。

はじめに、ビジネスとしてのアニメ制作の現状、アニメ制作プロセス、プロデューサーの仕事についてご講義していただきました。講演後には落越氏と本学の青柳寛之教授との対談を実施しました。アニメ制作と心理学の接点について活発な意見交換が行われました。



が中心となり八つのチームに分かれて、ドッジボール・バスケットボール・綱引きの三つの競技で勝敗を競いました。どの競技も熱戦を繰り広げ、大会が盛り上がりました。同じチームで協力すること、同級生・先輩・後輩の絆が一層深まりました。

阪神九大学対抗 宝塚カレーグランプリ2023出場

八月二十三日から二十八日にかけて、阪神地区九大学の学生がオリジンルカレーで売り上げを競う「宝塚カレーグランプリ2023」が宝塚阪急で行われました。会場には味だけでなく、栄養価や見栄え、パッケージなどにも趣向を凝らした商品が並びました。三年目の今年は、九大学が三グループに分かれて各二日間出店する形式で行われ、参加校数は過去最多になりました。本学は、八月二十三日、二十四日に



食創学科一年生が主体となり、さらに今年にはネパールからの留学生ライ・ビシユマさんのアドバ

イスを受けて「ネパール風野菜ごろうとカレー」を販売しました。今回はテイクアウトに加え、レトルトカレーも店頭販売し、見事売れました。学生にとって今年の夏の良い思い出になったことでしょう。



アクティブラーニング「コミュニティ」授業体験

栄養学部@オープンキャンパス

今年度開講した食創学科の特徴は、「食の六領域」の学びと「アクティブラーニング」です。特に食の六領域では、専門家を招いた実学に力点を置いています。八月二十日のオープンキャンパスでは、本学栄養学部の卒業生で、キッチンカー「まいペーす」の主催者である菊池伸宏さんをお招きして、食創学科を志望する学生と同伴者の方々に模擬授業を行いました。

講演では、キッチンカーのメニュー開発や店舗経営、仕事の大変さと創意工夫を含めた経営の極意などについて、具体的な話がたくさんありました。

「クラフトコラに挑む!」

栄養学部@オープンキャンパス

九月三日のオープンキャンパスでは、キッチンカー商品開発企画の第三回目として、クラフトコラに挑むを行いました。参加した高校生と保護者に「クラフトコラってなに?」と興味を持っていただくところから始めました。クラフトとは手作りという意味で、たくさんレシピがあります。

今回、食創学科では六種類のスパイスとレモンを使ったレシピを開発しました。スパイスには抗



酸化作用や抗炎症作用などがあることを学び、夏の疲れを癒やす飲み物として紹介しました。宝塚発祥の、ウィルキンソン強炭酸水で希釈し、参加者の方々に、イチゴ・ブルーベリー・モモ・生クリームをお好みでトッピングをしていただきました。レモンのクエン酸には発色効果があり、フルーツを加えることで綺麗な色になること、さらにスパイスの特徴や、コラの起源、ウィルキンソンサンソンの歴史などを記載したリーフレットを作成し、「商品開発は面白い!」ということをお伝えいたしました。

講演後には、かき氷を試食しました。氷がとても柔らかく、いちご、レモンなどお好みのシロップでおいしくいただきました。当日は日差しが強く、かなり暑い日だったので、キッチンカーの調理場は五十度近い室温となっており、美味しい食べ物を作る裏側の過酷な一面も知ることができました。授業においても、このような活きた学びの場を多く創ってほしいと考えています。

学院生の活躍

○数字は開催月

中学校剣道部

⑩令和5年度西宮市中学校新人剣道大会

団体 **優勝**
個人 **優勝**
準優勝
3位
3位

山内 穂佳(中二)
菱谷 芽生(中二)
白川 琴葉(中二)
難波ひいな(中二)

⑪令和5年度阪神中学校新人大会
第四十五回剣道競技大会

団体 **優勝**
個人 **3位**
ベスト8
ベスト8
ベスト8
ベスト8

山内 穂佳(中二)
琴葉(中二)
白川(中二)
難波ひいな(中二)

高等学校剣道部

⑦令和5年度第六十一回近畿高等学校剣道大会

団体 **3位**
優勝大会(学校の部)

⑧令和5年度第七十回兵庫県剣道大会

大会 兵庫県 **5位**
橋本凜音(高二) 次鋒出場

⑩令和5年度第六十八回阪神地区高等学校新人剣道大会

団体 **優勝**
個人 **優勝**
橋本 凜音(高二)
藤本ひなの(高二)

⑪令和5年度第七十回兵庫県高等学校新人剣道大会

3位
三葉 類(高二)

団体 **準優勝**
個人 **優勝**
3位

藤本ひなの(高二)
橋本 凜音(高二)

中学校バレーボール部

⑨令和5年度西宮市中学校新人大会(第六十六回中学校男女バレーボール競技大会) **優勝**

⑩令和5年度兵庫県高等学校体操競技新人大会

団体 **優勝**
個人総合 **3位**
5位

杉岡 生貴(高二)
土手下星空(高二)

種目別
跳馬 **1位**
3位
4位

鈴木美弥乃(高二)
武田明香里(高二)
杉岡 生貴(高二)

段違い平行棒 **2位**
5位
6位

杉岡 生貴(高二)
土手下星空(高二)
武田明香里(高二)

平均台 **5位**
6位
4位

杉岡 生貴(高二)
土手下星空(高二)
土手下星空(高二)



吹奏楽部

⑦第七十回兵庫県吹奏楽コンクール第四十六回西阪神地区大会高等学校A部門 **金賞・最優秀賞**

⑧第七十回兵庫県吹奏楽コンクール高等学校A部門 **金賞**

⑧第七十三回関西吹奏楽コンクール高等学校の部A **金賞**

⑩第二十九回日本管楽合奏コンテスト全国大会高校生B部門 **優秀賞**

私学の書展

十一月十六日から二十一日まで、神戸三宮地下街さんちかホールにて、第五十六回兵庫県私学総連合会「私学の書展」が開催されました。その作品の中から、大瀬愛奈(高二)さん、松葉美花子(小二)さんが特選を受賞しました。

特選(墨運堂賞)
特選(一休園賞)
入選

大瀬 愛奈
松葉美花子
川口 旺佑
飛岡 政
永田 伸秀
樋口 慎
内田 詞葉
伏見千都子
粟田 此春
菱谷 芽生
松井 優
三葉 礼

教育振興基金

教育振興基金は、学院創立五十年記念事業の一環として平成二一年一月から募金活動が始まりました。各校園の在学生の保護者、卒業生、教職員や企業の方々からその趣旨をご理解いただき、その果実を各校園において、教育環境、施設・設備の充実のために有効活用させていただいております。学院生がより充実した学院生活を送れるよう、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年小学生が七人出品しました。作品の文言にはそれぞれ花の名前が書かれています。今年四月から放映されたNHKの朝ドラマ「らんまん」をイメージしながら書きあげました。



令和5年度 購入備品等

校種	購入した主な備品等
大学	323・324教室空調更新工事、複合機(Taskalfa8353ci京セラ)2台
中高	エアコン更新工事、冷蔵庫、ターボリン幕(懸垂幕)
小学校	FkeパネルS型・ポールS型、可動式両面ホワイトボード、上下式黒板板面取替、こころぎコンサートグロッケン・専用スタンド、ビジネスチェア、折りたたみ式担架、ウォッシュパル寝具6点セット、ラウンドチェア、Averタブレット充電保管庫、MetaMoJiClassroomクラウド版11D50ライセンス
幼稚園	1階東端保育室床改修工事、ブラインド、小物入れ、ワゴン砂場キャリア、カメラ・三脚・延長ケーブル
本部	インクジェットプリンター(TS6330キャンノ)

あとがき

◆二期期の「園の輪」をお届けします。夏休みの行事から秋の運動会、文化祭、大学祭などがコロナ以前のように開催でき、紹介しています。

園の輪

そのわ No.185

令和5年12月15日発行

学校法人 甲子園学院

〒663-8107 西宮市瓦林町4番25号

TEL. 0798(67)2100

FAX. 0798(67)5488

http://www.koshien.ac.jp/honbu/